

2年8組の生徒が、2025年12月10日に中部大学を訪問しました。

模擬講義では久保先生より地球温暖化と核融合に関する話を聞きました。エネルギー問題を考える際には物理、化学、生物、地学、工学など、課題を解決するうえで考慮すべきことが多岐にわたっているということを丁寧に解説していただきました。自分が将来どの学問分野について学び、社会に貢献するのかについて考えるきっかけになりました。



施設見学では工学部の研究設備や高電圧実験室を見せてもらいました。実際に見る人工的な落雷は迫力はすごかったです。

また、実験装置のスケールの大きさに驚きました。高電圧実験室では山本先生に研究に関する話を伺ったのですが、その中で「研究者は好きなことをし続けられる。好奇心を持って挑戦し続けられる夢の職業である。自分の興味のある面白いこと探求し続けられるのが楽しい。」という話が印象的でした。



最後に大学院生の原田さんに中部大学附属三浦記念図書館2Fにある民族資料博物館に案内していただき、世界各地の民族文化が学習できる展示品を見させていただきました。

展示品はすべて中部大学の教員等による研究交流の場で収集されてきた民族資料だそうです。

理系である生徒も興味深そうに観察していました。中でも楽器など音が出るもの、農機具などの力学の知識が必要なものには特に興味深そうに見ていました。



中部大学の皆様ありがとうございました。